

ビニール・プラスチック容器包装を知ろう ~捨てればごみ、分ければ資源~



ビニール・プラスチック
容器包装って、何？

ビニール・プラスチック容器包装(以下「容器包装」といいます。)とは、

商品が入っていた又は包んでいたビニールやプラスチック製のもの を指します。



目印は、
このマークです

容器包装リサイクル法は、ごみを減らし、容器包装を資源として有効に利用するため、平成7年にスタートしました。

この法律では、消費者は分別排出、市町村は分別収集、事業者は再商品化など、すべての人々がそれぞれの立場で、リサイクルの役割を担うこととされています。

本市の容器包装は、全国1,100の自治体が委託している『容器包装リサイクル協会』を通じて、新たなプラスチック製品の材料などとして活用されています。

●容器包装を収集後、市内で選別・梱包(これを「中間処理」といいます。)しています。



収集した容器包装は、中間処理施設に集められます



ごみ袋を1つ1つ破り、異物や危険物がないか、手作業で選別します



圧縮して、梱包し、引取りまで保管します

中間処理だけでは、異物を全て取り除くことはできません。異物の混入が多く、品質が悪くなると、資源として引取りされず、処分の費用が別途かかることがあります。

容器包装をリサイクルしていくためには、何よりも市民の皆様が出される際にきちんと分別していただくことが大切です。

●容器包装には、リサイクルに適した品質が求められています。



年に1回、リサイクル協会による抜き打ちの品質検査がおこなわれます



汚れているもの、異物や危険物はないか、検査されます

次のような異物の混入を指摘されました



汚れの付着したビニール・プラスチック容器包装

✓ 満点を目指そう!
あなたの容器包装をセルフチェック



- プラが付いているかな？
商品が入っていた又は包装していたものが容器包装だよ。
- 汚れは落としたかな？目で見て汚れや中身が残っていない程度で構いません。
- チューブ類など汚れの落ちにくいものは、可燃ごみに分けたかな？
- 無色透明又は中身の見える白色半透明の袋に入れたかな？
袋の中に小袋を入れないかな？二重袋はダメだよ。
- 危険物（電池やカミソリの刃など）が誤って入っていないかな？

聞いてみよう！容器包装の出し方



容器包装に入れてはいけない、「異物」って、どんなものなの？

おもちゃ、歯ブラシ、タッパーなどのプラスチック製品は、「異物」になります。プラスチック製のストローやスプーン、湿布のフィルム、荷造り紐は、よく混入している異物です。これらは、容器包装と一緒にリサイクルできないので、週2回の「可燃ごみ」に出てください。



「危険物」って、どんなものなの？どういう危険があるの？

電池やカミソリの刃は、「危険物」になります。これらは、リサイクルできないだけでなく、収集や処理の際、発火事故やケガの原因になります。電池は専用の回収ボックスに、カミソリの刃はスチール缶などに入れて「燃やさないごみ」に出てください。



■ があっても、容器包装に出せないものがあるって、本当なの？

汚れや中身が残っていると、リサイクルできません。他の綺麗な容器包装も汚れてしまう可能性もあります。



有料化の収支と手数料の使途を公表します

平成30年度、有料化による収入は、52,336千円でした。平成30年度は、この収入額の全額を循環型社会推進基金に積み立てました。

平成30年度の支出は、下表のとおり、指定ごみ袋購入費などの必要経費、ごみ収集拠点整備等補助金などの活用事業費です。これらは本年度、循環型社会推進基金から充当する予定です。

＜平成30年度の収入＞

項目	決算額
家庭系可燃ごみ処理手数料	52,336千円

＜平成30年度の支出＞

項目	決算額
必要経費	27,508千円
・指定ごみ袋購入費	21,006千円
・指定ごみ袋販売店シール等印刷費	426千円
・取扱店への販売手数料	2,599千円
・指定ごみ袋保管・配達委託料	1,937千円
・お試し袋セット作成業務委託料	1,050千円
・その他（お試し袋セット資材等）	490千円
活用事業費（先行実施分）	678千円
・防鳥用ネット無償貸与事業	324千円
・雑がみ袋利用促進事業	21千円
・ごみ収集拠点整備等補助金事業	333千円
合計	28,186千円

※端数処理により、内訳と合計が一致しない場合があります。



＜令和元年度の循環型社会推進事業＞

重点施策1：環境意識啓発

- ・地域学習会
- ・市民提案型ごみ減量活動等補助金
- ・不法投棄対策
- ・情報発信事業
- ・市民活動の表彰制度

重点施策2：家庭系可燃ごみの減量等

- ・リサイクル活動の拠点事業
- ・古紙集団回収事業の拡充
- ・生ごみ処理容器普及事業
- ・使用済み食用油資源化事業
- ・ごみ分別アプリ配信事業

重点施策3：政策統合

- ・生ごみの再資源化事業
- ・レジ袋削減の推進
- ・学校等における環境学習への支援

先行実施施策

- ・防鳥ネット無償貸与事業
- ・ごみ収集拠点整備等補助金

循環型社会推進事業～有料化の収益で更なるごみ減量を推進します～

1. 試しに3ヶ月、生ごみ処理容器を使ってみませんか！

バイオ式生ごみ処理容器を無料で貸し出します



◀◀◀ ダスクリンくるくるⅢ型
幅35.5×奥行51.0×高さ36cm



自然にカエルS▶▶▶
幅42.8×奥行34.0×高さ41.8cm

可燃ごみの減量化、及びごみ処理に伴う環境負荷の軽減のため、**体験用のバイオ式生ごみ処理容器の貸出**をおこなっています。

また、購入される場合は補助制度（エコ生活応援補助金）もありますので、ぜひご活用ください。詳細は市ホームページ又はまち美化推進課へ。



ダンボールコンポスト講習会に参加しませんか！

身边なダンボールも生ごみ処理容器に！

ダンボールコンポスト講習会に参加された方には、ダンボールコンポストスタートキットをプレゼントしています。今後の講習会の予定は、広報等でお知らせします。ぜひご参加ください。

8月に開催した親子講座の様子▶▶▶



2. 家庭のごみ減量アイデアを募集します！



各家庭で取り組んでいるごみ減量アイデアを募集します。

応募用紙に必要事項を記入し、まち美化推進課までご応募ください。応募用紙は、まち美化推進課窓口で配布しているほか、市ホームページからダウンロードできます。

【例】

- ・コンポストを利用して生ごみを減らしている。
- ・水筒を持ち歩き、ペットボトルやプラ容器の利用を控えている。

【募集期間】

令和元年10月1日（火）～11月20日（水）必着

【その他】

- ・応募されたアイデアは、市の広報や各種施策に活用します。
- ・木津川市廃棄物減量等推進審議会で審査の上、優れたアイデアを表彰・公表します。
- ・詳しくは、応募用紙をご確認ください。

応募者全員にごみの減量チャレンジセットをプレゼントします！

（雑がみ袋、指定ごみ袋7L・15L各1パック。なお、プレゼントの進呈は、同一のご住所で1セットとなります。）

次回12月号の“MOTTAINAI便り”は、有料化から1年が経過したごみの状況をお知らせします。

【令和元年（2019年）10月発行】

〈問い合わせ先〉

〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9 木津川市役所 市民部 まち美化推進課
TEL：0774-75-1215（ダイヤルイン） FAX：0774-72-3900 Mail：machibika@city.kizugawa.lg.jp

※この“MOTTAINAI便り”は、循環型社会推進事業の一環として、ごみの“減量”・“再資源化”につながる身近な情報などを隔月で市民の皆さんにお知らせする情報紙です。
不要になりましたら、「雑がみ」として古紙回収にお出しいただき、リサイクルにご協力くださいますようお願いします。